



2025年11月26日

報道関係者 各位

ヒロカワフーズ株式会社

「瀬戸内ふわふわレモピィ」

2025年12月より販売開始

～怪獣レモンの新定番お土産菓子を販売～



ヒロカワフーズ株式会社は、「瀬戸内ふわふわ レモピィ」を2025年12月より、広島県内および瀬戸内エリアの土産物店、高速道路サービスエリア、駅ナカ売店にて発売いたします。

株式会社瀬戸内百姓が手掛けるブランドレモン「怪獣レモン」は、これまでに、イカ天、かりんとう、サイダー、ドレッシングなど、レモンの個性を活かした多彩なオリジナル商品を展開してまいりました。

このたび新たに、広島のお土産としてお手に取っていただける“箱菓子”シリーズが誕生いたします。瀬戸内レモンの爽やかな香りとやさしい酸味を活かしたお菓子は、旅の思い出や贈り物にも最適な一品です。



「瀬戸内ふわふわレモピィ」(イメージ)

怪獣の目玉をあしらったデザインに、中にはレモンの爽やかな香りが広がるクリームを包み込みました。



「パッケージ」(イメージ)

怪獣レモン 「瀬戸内ふわふわレモピィ」販売概要

商 品：瀬戸内ふわふわレモピィ

発 売 日：2025年12月～

販 売 エリア：広島県内および瀬戸内エリアの土産物店、高速道路サービスエリア、駅ナカ売店、ほか

オンラインショップ <https://www.rakuten.co.jp/hirokawafoods/>

価 格：1個324円(税込)／3個袋入972円(税込)／4個入(化粧箱)2,160円(税込)／

6個入(化粧箱)3,240円(税込)／12個入(化粧箱)5,400円(税込)

※一部店舗では取り扱いがない場合がございます。



「4個入化粧箱」(イメージ)



「6個入化粧箱」(イメージ)



「12個入化粧箱」(イメージ)

「瀬戸内ふわふわレモピィ」の特徴

1. ふんわり・しっとり、“王道”的口どけ

新鮮なたまごを使ったスポンジ生地は、ふんわり軽やかなのに、口に入れるとしっとり溶けていくような食感に仕上げました。和の蒸し菓子と洋菓子の中間のような、どこか懐かしく、誰にでもなじみやすい味わいです。

2. 怪獣レモンの香りが広がる、なめらかレモンクリーム

中のクリームには、瀬戸内産「怪獣レモン」が丸ごと使用された特製レモンカスターを使用。レモンならではの爽やかな香りとやさしい酸味に、カスターのコクを重ねることで、ひとくちで「瀬戸内の風景」が浮かぶような味わいを目指しました。冷やして食べても、常温でもおいしくお召し上がりいただけます。

3. 開けて楽しい、使って楽しい「びっくりパッケージ」箱も「アップサイクル」

「瀬戸内ふわふわ レモピィ」は、箱の中身だけでなく、“箱そのもの”も楽しんでいただけるようにデザインしました。入り数ごとに、遊び心のある仕掛けを施しています。

•4個入り：びっくり箱仕様

フタを開けると、怪獣レモンが飛び出してくるようなデザインの「びっくり箱」スタイル。思わず写真を撮りたくなる遊び心のあるパッケージで、お子さまへのおみやげやサプライズギフトにもぴったりです。

•6個入り：使える！ティッシュ箱＆スマホスタンド＆ペン立て

食べ終わった後もそのまま捨てず、ティッシュ箱カバーやスマホスタンド、ペン立てとして再利用できる仕様にしました。お菓子の箱が、そのままデスク周りやリビングで活躍する“実用的なパッケージ”です。

•12個入り：大迫力のジオラマ箱

怪獣レモンの世界観をぎゅっと詰め込んだ、大迫力の“ジオラマ箱”。組み立てると、怪獣レモンのミニジオラマとして飾ることができ、食べ終わった後もインテリアとして楽しめます。贈答用や特別なギフトとしても存在感のある一箱です。

開発背景

「怪獣レモンと言えば、“あのお菓子”的な存在感を」

ブランドを一目で伝えられる「象徴的な一品」をつくりたいという思いが強くなっていました。店頭でパッと目に入り、手に取った瞬間に世界観が伝わり、箱を開けて食べ終わるまで、ずっと“怪獣レモンらしさ”を感じてもらえるお菓子。さらに、特別な人に胸を張って渡せる、高付加価値なギフト仕様であること。

その答えのひとつとして企画したのが、「瀬戸内ふわふわ レモピィ」です。

ふわふわのレモンケーキという“王道の食べやすさ”に、怪獣レモンの物語性と遊び心あふれるパッケージギミックを組み合わせることで、ブランドの存在感を代表してくれる旗艦スイーツを目指しました。

私たちはレモピィを、気軽なおみやげとしてはもちろん、「今日は本当に大切な人に喜んでほしい」と思ったときに選ばれる、少しだけ特別な瀬戸内レモン菓子として育てていきたいと考えています。

株式会社瀬戸内百姓 ブランドレモン「怪獣レモン」について

株式会社瀬戸内百姓が展開するブランド「怪獣レモン」はレモンの名産地である瀬戸内で育った規格外レモンを「怪獣」に見立ててブランド化したブランドレモンです。味が良いのにも関わらず、廃棄されたり値段がつかないことから、その形を逆手に取ってブランディングされたアップサイクル（※）を実現しています。※アップサイクルとは価値が下がってしまった既存の素材や製品に、新たな価値を加えて生まれ変わらせることです。



「怪獣レモン」これまでの取り組み・コラボレーションの歩み

「怪獣レモン」ブランドでは、地域ブランドとしての発信力と話題性が評価され、これまでに複数の企業とのサステナブルな取組とグループ企業間のコラボレーションを実施し、商品展開を拡大してまいりました。

■ 「イズミゆめタウン」とのコラボ

怪獣レモンと怪獣はっさくのチューハイをイズミゆめタウンと共同で開発。店頭で大々的に展開。



怪獣レモンチューハイ



イズミゆめタウン 売場陳列画像

■ 「四国日清食品」とのコラボ

業務用食品として「怪獣レモンミンチカツ」を発売。怪獣レモンの皮やペーストを使用して、レモン風味を最大限に引き出しつつ、ミンチカツとしての食感や味わいを損なわない製品に仕上げています。

※第29回業務用加工食品ヒット賞を受賞。(2025年)



怪獣レモンミンチカツ（衣にコーンフレークを混ぜてゴツゴツ感を演出）

■ 映画「ゴジラ-1.0」「グラメゾン・パリ」とのコラボ

小売企業や食品加工メーカーとの取り組みに加え、エンターテインメントとのコラボレーションも実施。食の枠を超えた幅広いジャンルとの連携により、ブランドとしての発信力と世界観をさらに広げています。



瀬戸内しまなみ海道下り線の大浜PA（広島県尾道市因島大浜町）の店舗内でゴジラの立像が上陸

■～レモン、はっさく、いよかん～怪獣たちが瀬戸内の柑橘を世界へ届ける～

【中期計画 | 2025～2027年】

3つの“怪獣”ブランドによる個性豊かな展開を推進。

- ・ **怪獣レモン**：フードロス・規格外果実の活用をテーマに、サイダー・チューハイ・焼菓子などを展開。全国ブランド化を目指す。
- ・ **怪獣はっさく**：担い手不足と産地再認知をテーマに、ゼリーやバームクーヘンなどを通じて尾道・因島の価値を再発信。
- ・ **怪獣いよかん**：多品種柑橘の魅力再発掘を目的に、2025年より開発着手。

【長期構想 | 2028～2030年】

3ブランドの統合による“怪獣果実シリーズ”的世界観拡張へ。

絵本・アニメ・グッズ・ゲームなど、IP展開を通じて「エンタメ×地域ブランド」の新しい形を創出。地域発の農産ブランドとして、瀬戸内の魅力を国内外へ発信していきます。

地域課題×エンタメ型IPで世界に通用する “怪獣果実シリーズ”を確立

中期計画(2025～2027)

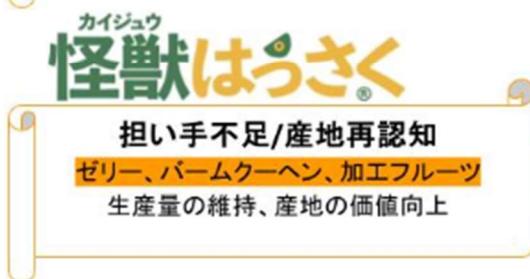


長期計画 (2028～2030)



怪獣はっさく怪獣いよかん®

怪獣○○の世界観をシリーズ化
絵本、グッズ、アニメ、音楽など
ブランドの世界観と知名度の向上



瀬戸内/海外向けの新市場創出

本件に関する報道各位からのお問合せ

ヒロカワフーズ株式会社 / 担当：寺西

TEL:0848-56-1450 FAX:0848-47-2221 MAIL:teranishi@hirokawa-kk.jp

※上記内容はリリース時点の情報であり、変更になる場合もございます。

※写真はイメージです。